

# 英語科学習指導案（略案）

令和元年6月20日（木）第5校時 3年3組（教室）

指導者：山田 章恵 ・ ALT: Camilla Webber

## 1. 授業研究会協議の視点

- ①「相手を意識して自分の考えをわかりやすく英語で話し、相手の話を興味をもって聞くことができる。」
- ②カミラ先生に「落語」のよさを伝えることを単元を通した目標とし、授業の中で学んだことをまとめていくことが、活動に主体的に取り組んでわかりやすく伝えようとすることに有効か。

## 2. 単元名 Lesson 3 Rakugo Goes Overseas

## 3. 本時のねらい

大島希巳江さんへのインタビューを読み、「英語落語」に対する希巳江さんの思いを理解することで、「落語」のよさを知ることができる。

## 4. 展開

	生徒	JTE	ALT
めあてをはっきり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をする。</li> <li>○先生からの質問に答えて先生と対話をする。</li> <li>○生徒同士で対話をする。</li> <li>【B復習型】</li> <li>○「落語」について学んだことを確認する。</li> <li>・ One performer tells a story and plays all the characters in it.</li> <li>・ A <i>sensu</i> and <i>tenugui</i> are used as many things.</li> <li>○本時のめあてをつかむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語学習の雰囲気をつくる。</li> <li>○生徒や ALT に質問をして対話を始める。</li> <li>○全体で話題を共有させる。</li> <li>○これまでに「落語」について学んだことを思い出させる。</li> <li>○これからさらに「落語」のよさを学んでいくことを確認する。</li> <li>○大島希巳江さんを紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をして英語学習の雰囲気をつくる。</li> <li>○JTE や生徒と対話をする。</li> <li>○大島希巳江さんの写真を見て、希巳江さんや英語落語について質問をする。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> 大島希巳江さんへのインタビューを読み、希巳江さんの思いと「落語」のよさを知ろう。		
課題をじっくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) インタビューを個人で黙読し、全体の構成をつかむ。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめのあいさつと自己紹介</li> <li>・質問と答え</li> <li>・おわりのあいさつとお礼</li> </ul> </li> <li>(2) インタビュアーの4つの質問に下線を引く。</li> <li>(3) 質問の答えにつながるキーワードを丸で囲む。キーワードに関連したカミラ先生の質問に答える。</li> <li>(4) 班になり、キーワードをつなげて質問の答えにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○希巳江さんの思いを考えながら読み、カミラ先生の質問の答えを見つけることを課題とする。</li> <li>○個人で考えさせる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) インタビュー全体の構成をつかませる。</li> <li>(2) インタビュアーの質問をとらえさせる。</li> <li>(3) 質問の答えにつながるキーワードを見つけさせる。</li> </ul> </li> <li>○班で協働して考えさせる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>(4) キーワードをつなげて質問の答えをまとめさせる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キーワードを見つけるヒントになる質問や、キーワードについて深める質問をする。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>子どもの姿（理解）</b>            大島希巳江さんのインタビューの記事に興味をもって読み、4つの質問とそれぞれに対する答えを把握し、その内容を理解している。（観察・ワークシート・発表）         </div>		
まとめしつかり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○班で考えた質問の答えをクラスで共有して、「英語落語」に対する希巳江さんの思いやそのよさをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○班で考えた答えを発表させる。</li> <li>○本時で分かったことをまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時に分かったことを踏まえて、さらに知りたいことを伝える。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">まとめ</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Kimie-san wanted to share Japanese humor with people all over the world.</li> <li>・ Some Japanese habits are different from other cultures'.</li> <li>・ Kimie-san will continue spreading laughter all over the world.</li> </ul> </div> </div>		
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業を振り返り、考えたことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめを踏まえて授業を振り返らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のがんばりをほめて次時へつなげる。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">振り返り</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希巳江さんの、落語で日本のユーモアを世界中の人々と共有したいという思いに共感した。</li> <li>・ 落語の中で日本の習慣と外国の文化の違いを伝えなければならない難しさが分かった。</li> <li>・ 英語落語を見てそのおもしろさを感じてみたい。</li> </ul> </div> </div>		

# 一人1研究授業まとめ

3年英語 山田 章恵

## 1 題材名・単元名 Lesson 3 Rakugo Goes Overseas 本時6時間目

**ねらい** 落語家大島希巳江さんへのインタビューを読み、「英語落語」に対する希巳江さんの思いを理解することで、「落語」のよさを知ることができる。

## 2 成果

### (1) <小野の英語科指導の重点について>

「相手を意識して自分の考えをわかりやすく英語で話し、相手の話を興味をもって聞くことができる。」

○ALT カミラ先生に「落語」のよさを伝えることを単元を貫く目標とし、毎回の授業で学んだことをまとめて蓄積していくことで、より分かりやすく伝えることができた。

○本文が「英語落語」についての質問に答えるインタビューの形式であるため、質問を探してその答えを読みとっていくことで、「英語落語」に対する希巳江さんの思いを理解することができた。

○ALT カミラ先生から「英語落語」についてさらに質問を受けることで、本文をより深く読んで理解することができた。

### (2) <まとめ・振り返りの充実と個に応じたつなぎ教材の活用について>

#### ①個に応じたつなぎ教材の活用について

##### 【復習型】

導入で、Step Card（振り返りカード）を用いて各自が前時までに蓄積してきた「落語」についての情報を振り返り、これまでに分かっていることとさらに知りたいことを明確にしてから本文の読みに入ることができた。

#### ②まとめ・振り返りの充実

##### 【まとめ】

個人で読み取ったことをグループで協働して深めさせ、さらにクラスで共有したことで、「落語」についてより多くの情報を理解してまとめることができた。

##### 【振り返り】

単元を通して、ALT カミラ先生に「落語」のよさを伝える目標を意識させ、「英語落語」に対する希巳江さんの思いを中心に振り返らせることで、「落語」についてより深く理解することにつながった。



## 授業改善に向けて、私はこうします！

### 課題

- ・毎時間のまとめ・振り返りの時間を十分に確保し、個から全体への共有を図る。
- ・個に応じたつなぎ教材を工夫し、学力向上を図る。

### 改善策

- ・教員が話す時間を極力減らし、的確な指示で、生徒たちの考える時間や語り合う時間を確保していく。
- ・ベースになる課題によりレベルの高い課題を合わせた教材や、教員が示したモデルに近い物と自由度の高い物のように個に応じた教材を用意し、生徒が自分の力を見極めて取り組めるようにする。